



1911 フォードのモデルTツアリング



製造情報

製造商	フォードモーターカンパニー /フィールドボディカンパニー
組付工場	ミシガン州のハイランドパークのフォードハイランド パーク工場、(子会社工場)
モデル生産量	26,405
総生産量	34,858 (完成車)
馬力	22
重量	1,200ポンド/ 544キログラム
当時売価	\$780 (USD)

イノベーション(ポイントのみ)

ルーバー(鎧窓)無しで作られたアルミニウム製のボンネット

新しい高圧磁石発電機による広いエンジンパン

エンジンの6つのボルト付き検査されたドアが年末に開発される

屋根付きの車が一般的になる(昔はオープンカーが主で屋根はオプションだった)

この年中後に後ろのアクセルのが次第に細くなった

ハイランドパークで作られた最初のモデル

1911年までにフォードのモデルTは大きな栄光を収めました。フォード社は可能な限り多くの車を生産しました。しかし、注文が増え続けることにより車の生産が追いつかなくなりました。市場の需要を供給することは会社にとって重要な問題です。1910年1月1日、フォード社は当時建設中であったハイランドパークに工場を移し始めつつ、同時にピケッテ通りの工場でも1911年まで大規模な生産を続ける事で増え続ける需要を賄おうとしました。

ツーリングカーを例にとると、今までの車の車体は木であったのに対し1911年のツーリングカーは木製の下部構造に取り付けられた金属ボディパネルが特徴です。また、フェンダーは1911年に新しいダイヤモンドパターンのランニングボード用に再設計されました。